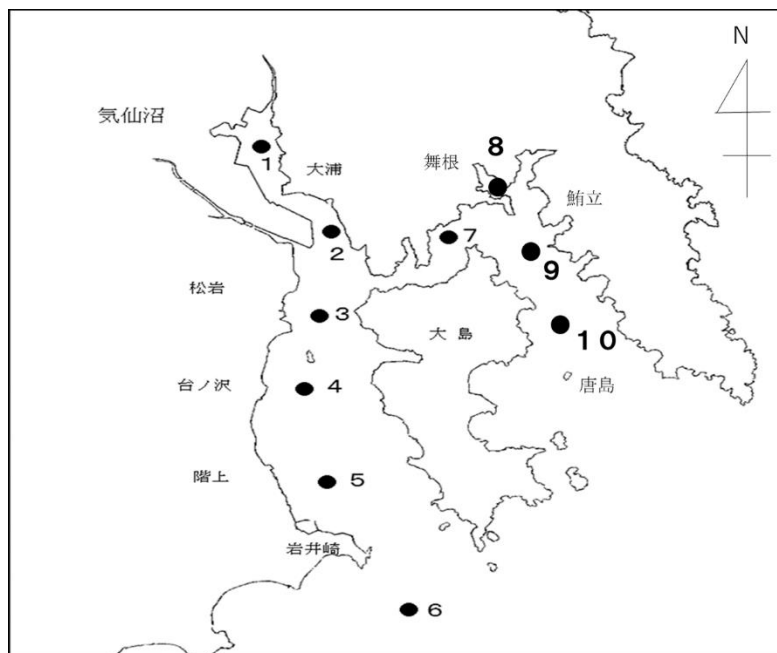


◆調査地点



※St. 8 (舞根), St. 9 (鮪立), St. 10 (唐島) については、水温及び塩分のみ測定した。

◆調査項目

- ・透明度：透明度板が見えなくなる水深。水域の清濁の程度を示す。
- ・pH：水の酸性，アルカリ性を示す値。7.0 が中性，7.0 より大きいほど強いアルカリ性，7.0 より小さいほど強い酸性。海水は弱アルカリ性でその値は8.2～8.3 位。
- ・水温：夏季に表層と底層の差が大きくなり，鉛直混合がなくなる。
- ・塩分：通常 32～34 位の値を示すが，降雨や河川水の影響で低くなる。
- ・DO (溶存酸素量)：水に溶けている酸素の量。有機物が分解される時，酸素が消費され，特に底層で低酸素になることがある。
- ・栄養塩類 (P04-P:リン酸態リン, NH4-N:アンモニア態窒素, NO3-N 硝酸態窒素, NO2-N:亜硝酸態窒素)：植物プランクトンや大型藻類の生育に必須。これらの値及び水温が高くなると植物プランクトンが増殖し，赤潮が発生することもある。
- ・COD (化学的酸素要求量)：水中に含まれている有機物の尺度で有機物が多いほど高い値となり，汚染の指標となる。
- ・プランクトン沈殿量：プランクトンネット (目合 90 μ m) で捕集されるプランクトン量。
- ・水色：brown, olive 等の時は赤潮が発生している。